

第5期 第8回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日時 令和5年2月15日(水) 13:30~14:10

2 場所 苫小牧市役所 職員会館3階304会議室

3 出席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

伊藤委員、遠藤委員、太田委員、奥村委員、加藤委員、佐々木委員、佐藤委員、須田委員、高橋委員、長山委員、藤本委員、綿貫委員

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 小名部長

産業振興室 : 白川室長

企業政策室 : 木澤室長

商業振興課 : 小泉課長、長谷川主査、高橋主査、塚原主事

工業・雇用振興課 : 倉持課長、齋藤主査、西村主事

4 概要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中12名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 報告

ア 前回の意見交換会の結果について

須田委員より、11月16日(水)の第7回中小企業振興審議会後に開催された意見交換会の結果報告。

テーマ 意見交換会の今後の在り方について

多くの意見が出てくるような場をつくれたら良い。

⇒アントレプレナー教育、インターンなど、学生を巻き込みながらやれる形。

苫小牧高専フロンティアコース5年生の卒業研究見学会を12月9日12月16日に実施し、学生と意見交換を行った。

学生にとっても言われたこと、指摘されたこと、指導されたことについて話題が広がり、グループワークの活性化につながった。

このような学生との触れ合い、意見交換の場のようなことを今後も行っていくべきことと感じた。

○高橋会長

高専生による課題解決型の提案という形でプレゼンを聞かせていただき、苫小牧市内の企業と学生がコラボレーションし、フレッシュで新しいのを創っているという、本当に素晴らしい内容だったと思う。

そういう取組の中に、中小企業振興の在り方ということでお話ができる機会を作っていきたい。

(3) 議事

ア 『第二次苫小牧市中小企業振興計画（案）』の意見反映について

事務局より、市長へ答申いただいた第二次計画（案）について、令和4年12月7日に所管委員会に報告及び令和4年12月23日から令和5年1月23日に行ったパブリックコメントの意見に対応し、変更した第2次計画（案）を資料1に反映し、意見と反映内容を資料2にまとめ、3件の所管委員会、1件の事務局案について、資料に沿って説明（パブリックコメントでの意見は無し）。

《質疑》

○奥村委員

表記上の問題に関して、文章中に「おります」と「います」の混在、英語と数字は2文字以上は半角、5ページに関し、6割、5割の表記は計算上6割以上とか約6割と記載した方が良い。男女別で従業員数の多い産業を列記するのなら、多い順番で統一した方が良い。文言の末尾について「しています」、「します」の混在、それぞれの項目で末尾が決まっているほうが見やすいと感じる。

●小泉課長

来月初めの所管委員会に出す資料には、可能な限りで反映したい。

イ 第6期苫小牧市中小企業振興審議会への引継ぎ事項について

事務局より、これまでは任期2年間で審議した内容や次の期に議論をしていただきたい引継ぎ事項を報告書としてまとめ、任期の最後に本会から市長に報告書として活動内容を報告していたが、第5期は第二次中小企業振興計画（案）を市長へ答申しているため、第6期審議会で議論してもらいたい事項を引継ぎ書としてまとめたものであることを、資料3に沿って説明。

○高橋会長

第5期審議会は、部会を意見交換会に変更し、委員皆様の意見を吟味する形で非常に多くの意見を答申の中に取り込むことができた。この形がベストかどうかは分からないが、第6期に向けてしっかり引継ぎができる内容に整えることができたと思う。掲げた目標に対して具体的な施策をどうしていくかというのは、今後の鍵になり、高専の取組やほかにも様々な形で、審議会の中で生まれたもの、できるようになったものを第6期にしっかり引継ぎをしたい。

---質疑なし---

(4) その他

高橋会長より、第5期最後だが、各委員のあいさつは意見交換会で行うので、欠席の佐藤委員と、会長、小名部長より挨拶があった。

○佐藤委員

昨年4月から審議会に参加させていただき、いろいろな形で皆さんで意見を出し合って地域の振興につなげていきたいと思う。皆様のそういった活動に今後も教えていただきながらご協力させていただきたい。

○高橋会長

皆様方にはコロナ禍において、大変なご苦勞の中で事業運営、お仕事をされていると思う。審議会も一時中断をしたり、初期対応に関してご努力をされ、お仕事の中でもこの審議会が開催できたこと、改めて感謝を申し上げたい。

コロナ禍は悪影響だけでなく、ITやIoTも含めたデジタル化が進むなど、新しい産業の芽生えにもつながっている気がする。時代は5Gが進む中、デジタルコンテンツを含めてもっと先を進んでいく超デジタル時代に、急激に取り組みられていく形になる。スマートフォンが普及してまだ10年足らず、この間で様々なコンテンツや情報が行き交う時代になった。人と人が会うことが非常に大切に思えたコロナ禍の気づきではあった一方、全世界的に様々な根源が日本社会も含めて急激に影響してくることに気づいた数年間でもあった。戦争や急激な円安による輸出入のバランスが崩れるなどの影響が、我々の家庭にも影響してる昨今である。インフレになると給料を上げないと今までと同じ生活もできず、この困窮した中で、中小事業者のこれからの在り方が求められてると思っている。

引継ぎ書にもあるが、行政の得意分野、民間の得意分野、今以上の市民サービスの向上、行政においても様々な形で変えていけるもの、一緒に取り組めるものという中で、皆様方から貴重な意見をいただいて審議会を閉められたことを本当に感謝申し上げます。いろんな意見があってもいいと思うし、審議会の中で討議することと、自由闊達に進める意見交換会にて、意見をうまくブレンドさせて進めることができた審議会だったと思う。皆様に感謝を申し上げます。

●小名部長

2年間にわたり本市の中小企業振興に対してのご協力、心より感謝申し上げます。

市長より次期計画策定に向けて中小企業振興をより一層発展、充実させるための意見の取りまとめについて諮問を受け、第二次小牧市中小企業振興計画（案）として市長へ答申いただいた内容については、第一次計画の検証から、第二次計画の骨子を基に新たな三本柱ごとで議論を深め、議論の深掘りを委員全員で議論内容を共通認識でき、自由闊達に議論できる意見交換会を開催するなど、計画の策定に向けて十分な議論を行っていただいたことに感謝する。

3年にわたって蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響が戻らない状況に加え、昨今のエネルギー価格の上昇や物価の高騰、ゼロゼロ融資の返済開始の本格化等により、中小企業を取り巻く環境は大変厳しいものと思う。市では事業者向けに各種支援策を講じてきたが、今後も地域経済を支える中小・小規模事業者の支援について、第二次中小企業振興計画の具現化に向けて、引き続き現場の声を聞きながら中小企業の振興に取り組んでまいりたい。

第二次中小企業振興計画、第5期引継ぎ書については、今後の中小企業振興に大きな役割を果たしていくものと期待し、次期審議会でも計画の進捗管理や具現化につながる事業実施に向けた取組について様々な議論を重ねていただきたい。

引き続き本市の中小企業振興をはじめとした市政運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。2年間委員をお引き受けいただき、感謝する。

(5) 閉会